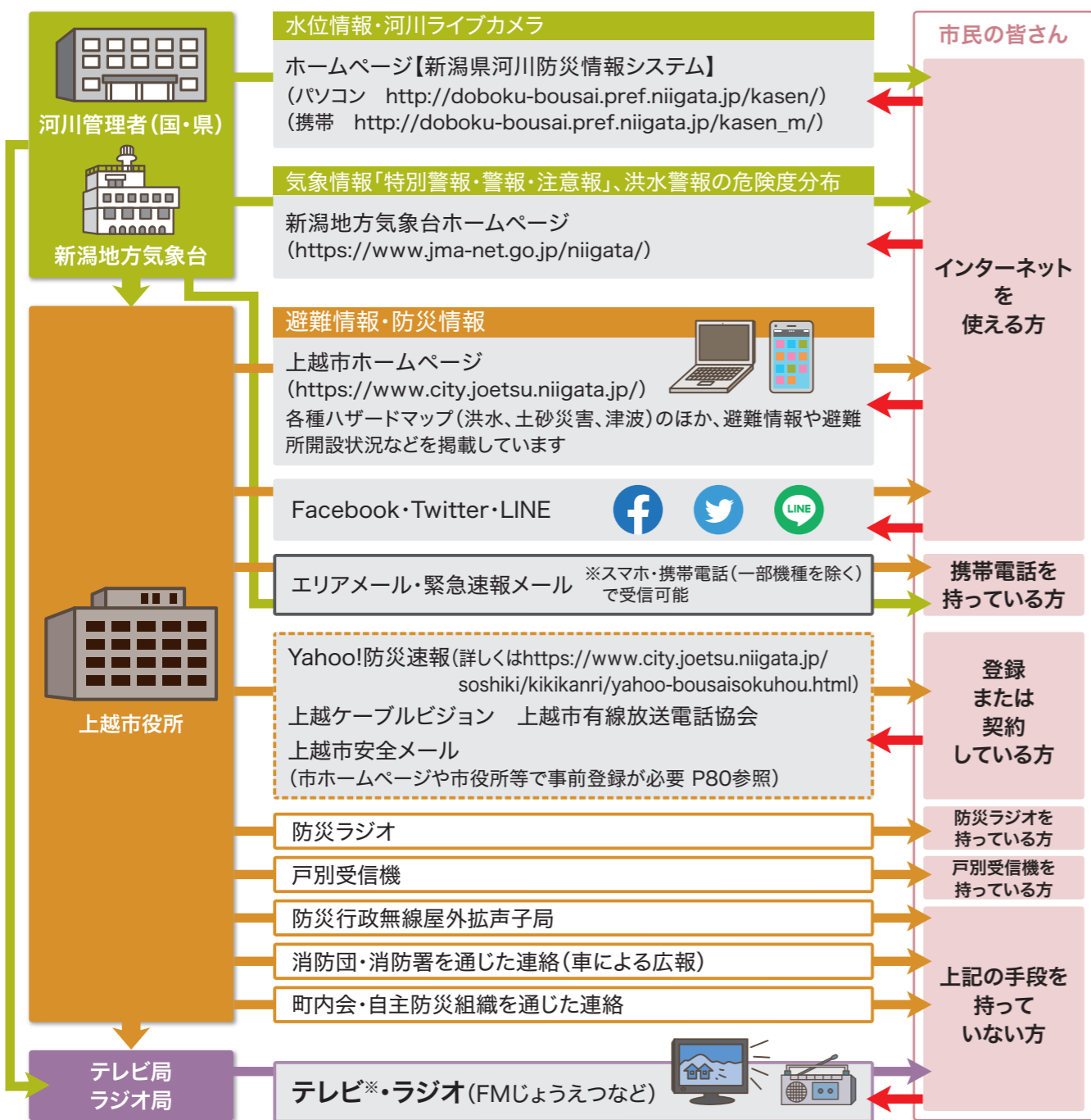


情報の伝わり方・受け取り方(情報収集の方法)

市は様々な手段で情報を発信します。中には、自ら収集できる情報もあります。市からの情報を待つだけでなく、自ら積極的に情報を集め、早めの避難行動を心がけましょう。

← この矢印は自ら収集できる情報です



※テレビは、リモコンの「dボタン」を押すと最新の気象・水位・避難情報を確認できます。
(平常時には、避難に関する情報が表示されない放送局もあります)



避難する際には十分な注意を

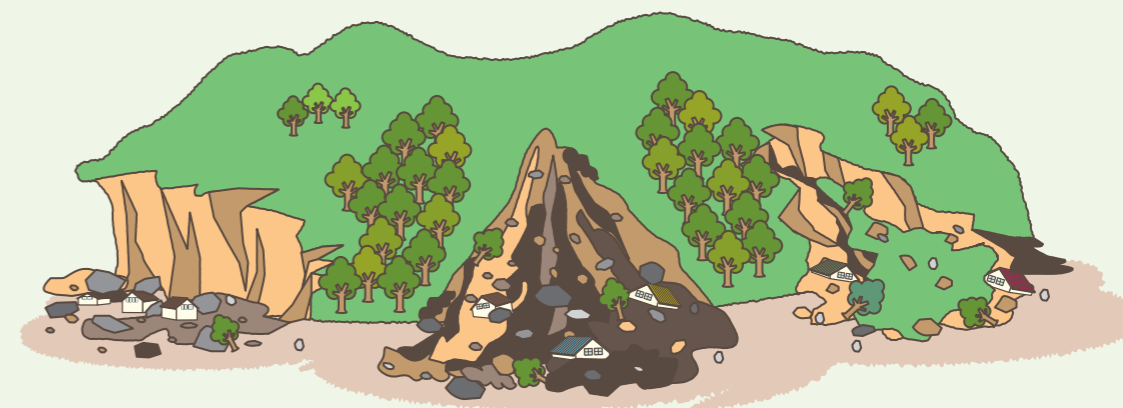
洪水のおそれがあるときは、正しい情報を入手し、余裕を持った行動を心がけましょう。

強い雨が降り続くときは

- まず避難の準備をしましょう。
- ラジオやテレビ、インターネットで最新の気象情報、災害情報を確認しましょう。
- 防災行政無線や防災ラジオ、広報車等にも耳を傾けましょう。
- お年寄りや病気の人など避難に時間がかかる人は、周りの人に協力してもらうなど、いつでも避難できるようにしておきましょう。
- 異常や危険を感じたら、ご近所の人や知り合いの人などと連絡をとり合い自主的に避難を開始しましょう。
- 夜暗くなってからの避難は危険を伴うことから、明るいうちに避難を完了できるようにしましょう。



土砂災害は非常に危険です



がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象です。

- ・ がけに割れ目が見える
- ・ がけから水が湧き出ている
- ・ がけから小石がばらばらと落ちてくる

土石流

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象です。

- ・ 山鳴りがする
- ・ 急に川の流が濁り、流木が混ざっている
- ・ 雨が降り続けているのに川の水位が下がる

地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象です。

- ・ 地面にひび割れができる
- ・ 斜面から水がふき出す
- ・ 家や擁壁に亀裂が入る
- ・ 家や擁壁、樹木や電柱が傾く

次のような前兆現象に注意し、危険を感じたら速やかに避難しましょう。

土石流等はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向とは、直角に逃げましょう。

- 避難に余裕がないときは、命を守るための最適な行動をとりましょう。屋外への避難がかえって危険を伴う場合等やむを得ないときは、建物の2階以上の斜面とは反対に位置する部屋に避難しましょう。